

# 全国における中高一貫教育等について

高校教育課

## 1 中高一貫教育の概要（文部科学省の「中高一貫教育の概要」から）

### (1) 導入の趣旨

従来の中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、中央教育審議会第二次答申（平成9年6月）の提言を受けて、「学校教育法等の一部を改正する法律」が平成10年6月に成立し、平成11年4月より、中高一貫教育を選択的に導入することが可能となった。

### (2) 中高一貫教育の実施形態

中高一貫教育については、生徒や保護者のニーズ等に応じて、設置者が適切に対応できるよう、次の3つの実施形態がある。

#### 中等教育学校

一つの学校において一体的に中高一貫教育を行うもの

#### 併設型の中学校・高等学校

高等学校入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高等学校を接続するもの

#### 連携型の中学校・高等学校

既存の市町村立中学校と都道府県立高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の面で連携を深める形で中高一貫教育を実施するもの

### (3) 併設型の中学校・高等学校

学校教育法は、中等教育学校に準じて、同一の設置者が設置する中学校及び高等学校において中高一貫教育を行うことができることを規定している。

同一の設置者が設置する中学校及び高等学校においては、文部科学省の定めるところにより、中等教育学校に準じて、中学校における教育と高等学校における教育を一貫して施すことができる。（学校教育法第71条）

今回の改正は、中等教育の多様化を一層推進し、生徒の個性をより重視した教育を実現するため、現行の義務教育制度を前提としつつ、中学校と高等学校の制度に加えて、中高一貫教育制度を選択的に導入することとし、学校教育法上、新たな学校種として中等教育学校を創設するとともに、同一の設置者が設置する中学校及び高等学校において中高一貫教育を行う制度を設けるものであります。（文初高第475号 平成10年6月26日 中高一貫教育制度の導入に係る学校教育法等の一部改正について（通知））

併設型中学校及び併設型高等学校の教育課程の基準は、中学校の学習指導要領及び高等学校の学習指導要領がそれぞれ適用されるが、中学校の段階で選択教科をより幅広く導入することができること、中学校と高等学校の指導内容の一部を入れ替えて指導することができることなどを内容とする教育課程の基準の特例が設けられている。

併設型中学校の教育課程については、第五章に定めるもの（連携型中学校の教育課程に関するもの）のほか、教育課程の基準の特例として文部科学大臣が定めるところによるものとする。（以降省略）（学校教育法施行規則 第114条）

中等教育学校並びに併設型中学校及び併設型高等学校の教育課程の基準の特例を定める件（平成20年3月28日 文部科学省告示 第31号）

併設型中学校への入学については、設置者の定めるところにより、校長がこれを許可する。この場合、公立の併設型中学校においては、中等教育学校と同様に、学力検査を行わない。また、併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒については入学者の選抜を行わないこととされている。

前項の場合において、公立の中等教育学校については、学力検査を行わないものとする。（学校教育法施行規則 第110条）

併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒については入学者の選抜を行わないものとする。（学校教育法施行規則 第116条）

第110条の規定は、併設型中学校に、これを準用する。（学校教育法施行規則 第117条）

## 2 中高一貫教育の利点と留意事項（中央教育審議会第二次答申の骨子 平成9年6月 抜粋）

### <利点>

高等学校入学選抜の影響を受けずに「ゆとり」のある安定的な学校生活を送れること

6年間の計画的・継続的な教育指導が展開でき効果的な一貫した教育が可能

6年間にわたり生徒を継続的に把握することにより生徒の個性を伸長したり、優れた才能の発見がよりできること

中学校1年生から高校3年生までの異年齢集団による活動が行えることにより、社会性や豊かな人間性をより育成できること

### <留意すべき点とそれらへの対処に関する考え方>

受験競争の低年齢化につながるものがないよう、公立学校では学力試験を行わない等、入学者を定める方法などについて適切な配慮が必要

受験準備に偏した教育が行われるものがないよう、普通科タイプの場合には特に配慮が必要  
心身発達の差異の大きい生徒を対象に円滑な学校運営を行うよう、日常の指導や学校運営に当たって、教員が緊密に連携し、きめ細かな配慮をしていくことが必要

生徒集団が長期間同一メンバーで固定されることにより学習環境になじめない生徒が生じるものがないよう、「ゆとり」の中で、様々な試行錯誤をしたり、体験を積み重ねること等を通じて豊かな学習を行えるようにすることが必要。また、途中で転学を希望する生徒に対して十分に配慮していくことが必要

全国の中高一貫教育校の設置状況について

(平成20年4月)

都道府県名等	平成20年度までに設置された学校の状況					合計	平成21年度以降の設置予定
	中等教育学校		併設型		連携型		
	校数	学校名	校数	学校名	校数		
1 北海道	1	登別明日中等教育学校			9	10	
2 青森			1	三本木高校・附属中学校	2	3	
3 岩手					2	2	H21併設
4 宮城			1	古川黎明高校・中学校	1	2	H22併設
5 秋田			3	秋田市立御所野学院高校・中学校 横手清陵学院高校・中学校 大館国際情報学院高校・中学校		3	設置予定あるが詳細未定
6 山形					2	2	
7 福島			1	会津学鳳高校・中学校	4	5	
8 茨城	1	並木中等教育学校			1	2	H22併設
9 栃木			2	宇都宮東高校・附属中学校 佐野高校・附属中学校		2	
10 群馬	1	中央中等教育学校			3	4	
11 埼玉			1	伊奈学園総合高校・中学校	1	2	
12 千葉			1	千葉高校・千葉中学校	1	2	
13 東京	4	桜修館中等教育学校 小石川中等教育学校 区立九段中等教育学校 立川国際中等教育学校	3	白鷗高校・附属中学校 両国高校・附属中学校 武蔵高校・附属中学校	6	13	H22併設2中等2
14 神奈川						-	H21中等2、連携1
15 新潟	6	村上中等教育学校 柏崎翔洋中等教育学校 燕中等教育学校 津南中等教育学校 直江津中等教育学校 佐渡中等教育学校	1	阿賀野黎明高校・中学校		7	
16 富山						-	
17 石川			1	金沢錦丘高校・中学校	2	3	
18 福井					4	4	
19 山梨			1	北杜市立甲陵高校・中学校		1	
20 長野						-	
21 岐阜					2	2	設置予定あるが詳細未定
22 静岡			3	浜松西高校・中等部 清水南高校・中等部 沼津市立沼津高校・中等部	3	6	
23 愛知					1	1	
24 三重					4	4	
25 滋賀			3	河瀬高校・中学校 守山高校・中学校 水口東高校・中学校		3	H21併設2
26 京都			2	洛北高校・附属中学校 園部高校・附属中学校		2	
27 大阪					1	1	
28 兵庫	1	芦屋国際中等教育学校	1	県立大学附属高校・附属中学校		2	
29 奈良					1	1	
30 和歌山			5	向陽高校・中学校 田辺高校・中学校 橋本高校・古佐田丘中学校 桐蔭高校・中学校 日高高校・附属中学校	3	8	
31 鳥取						-	
32 島根					2	2	
33 岡山			3	岡山市立後楽館高校・中学校 岡山操山高校・中学校 倉敷天城高校・中学校	1	4	
34 広島			2	広島高校・中学校 福山市立福山高校・中学校	3	5	
35 山口	1	下関中等教育学校	1	高森高校・高森みどり中学校	2	4	
36 徳島			2	城ノ内高校・中学校 川島高校・中学校	2	4	
37 香川			2	高松北高校・中学校 高瀬高校・高瀬のぞみが丘中学校		2	
38 愛媛	3	今治東中等教育学校 松山西中等教育中学校 宇和島南中等教育学校				3	
39 高知			3	安芸高校・中学校 高知南高校・中学校 中村高校・中学校	3	6	
40 福岡	1	輝翔館中等教育学校	2	育徳館高校・中学校 門司学園高校・中学校		3	
41 佐賀			4	致遠館高校・中学校 唐津東高校・中学校 武雄高校・武雄青陵中学校 鳥栖高校・香楠中学校	1	5	
42 長崎			2	長崎東高校・中学校 佐世保北高校・中学校	3	5	
43 熊本					2	2	
44 大分			1	大分豊府高校・中学校	1	2	
45 宮崎	1	五ヶ瀬中等教育学校	1	宮崎西高校・中学校		2	
46 鹿児島			1	鹿児島市立鹿児島玉龍高校・中学校	2	3	
47 沖縄			1	与勝高校・与勝緑が丘中学校	3	4	
政令指定都市						-	H21中等
さいたま市			1	さいたま市立浦和高校・中学校		1	
千葉市			1	千葉市立稲毛高校・中学校		1	
京都市			1	京都市立西京高校・附属中学校		1	
大阪市			1	咲くやこの花高校・中学校		1	
広島市			1	広島市立安佐北高校・中学校		1	
公立計	20		60		78	158	
私立計	13	(省略)	158	(省略)	1	172	
国立計	3	東京大学教育学部附属中等教育学校 東京学芸大学附属国際中等教育学校 奈良女子大学附属中等教育学校	1	名古屋大学附属高校・中学校		4	
合計	36		219		79	334	

注) 併設型及び連携型は、中学校・高等学校1組を1校として集計している。  
和歌山県の連携型には、国立大附属中と県立高校の連携を含むが、公立の扱いとして集計している。  
基本的に平成11年の学校教育法改正に基づき設置された中高一貫教育を行う学校数である。

## 併設型中高一貫教育校における併設型中学校の特色等について

都道府県 指定都市	校 名	設置 年度	募集 定員	学 校 の 特 色
1 青森県	三本木高等学校附属中学校	H19	80	「サイエンス」「コミュニケーション」「ヒューマン」の3つのコンセプトに基づく特色ある教育活動を展開し、生徒一人一人の個性と能力の伸長を期することにより、国際社会の進展に貢献できる人材の育成を図る。
2 宮城県	古川黎明中学校	H17	80	特色ある教科、黎明土曜塾等による創造力の高い確かな学力の育成
3 秋田県	大館国際情報学院中学校	H17	80	普通科と国際情報科の総合制高等学校
4 秋田県	横手清陵学院中学校	H16	80	普通科と総合技術科の総合制高等学校
5 秋田市	御所野学院中学校	H12	120	表現科の開設、郷土総合学習の導入、体験的奉仕活動の実施
6 福島県	会津学鳳中学校	H19	90	教育目標を「国際社会に夢拓く力の育成」、中高を貫く教育の柱を「情報教育」「語学教育」「多文化理解」とし共生社会を担う人材や将来各分野でリーダーとして活躍する人材を育成
7 栃木県	宇都宮東高等学校附属中学校	H19	105	社会の発展や新しい知の創造に貢献できるリーダーの育成
8 栃木県	佐野高等学校附属中学校	H20	105	国際人として活躍できる真のリーダーの育成
9 埼玉県	伊奈学園中学校	H15	80	生徒一人一人の個性や能力の伸長を図るとともに、進路等にに応じたきめ細かな教育の実施
10 さいたま市	浦和中学校	H19	80	6年間を見通した特色ある教育活動
11 千葉県	千葉中学校	H20	80	千葉から、日本でそして世界で活躍する心豊かな次代のリーダーの育成
12 千葉市	稲毛高等学校附属中学校	H19	80	英語教育・国際理解教育を重視し「確かな学力」「豊かな心」「調和のとれた体力」を身につけた真の国際人を育成する
13 東京都	白鷗高等学校附属中学校	H17	160	教科指導とともに教養教育を充実し、社会のさまざまな場面でリーダーとなる人材を育成
14 東京都	両国高等学校附属中学校	H18	120	教科指導とともに教養教育を充実し、社会のさまざまな場面でリーダーとなる人材を育成
15 東京都	武蔵高等学校附属中学校	H20	120	教科指導とともに教養教育を充実し、社会のさまざまな場面でリーダーとなる人材を育成
16 新潟県	阿賀黎明中学校	H14	40	ステップアップで確かな学力、自らつくるたっくましい心、創造と工夫で拓く未来
17 石川県	金沢錦丘中学校	H16	120	新設教科「コミュニケーション」(国語・英語・情報)の設置
18 北杜市	甲陵中学校	H16	40	高い志を持った気骨ある人材の育成
19 静岡県	浜松西高等学校中等部	H14	160	社会貢献への強い意欲と使命感を持った有為な人材を育てる学校を目指し、「高い知性」「豊かな心」「たっくましい力」を育むことを目標とする。
20 静岡県	清水南高等学校中等部	H15	80	高い知性と豊かな感性・表現力を備えた国際社会のリーダー及び芸術分野のスペシャリストを育成することを目標とする。
21 沼津市	沼津高等学校中等部	H15	80	国際理解教育、情報教育、地域学等をととし、主体的な市民として各界で活躍する多様なタイプの人材を育成することを目標とする。
22 滋賀県	水口東中学校	H15	80	自ら学ぶ力と豊かな人間性を兼ね備えた未来に輝く人間教育を目指す。「じっくりしっかりと いきいきと」をモットーとする。
23 滋賀県	河瀬中学校	H15	80	知・徳・体の調和がとれた人間、地域や国際社会に貢献できる人材の育成を目指す。
24 滋賀県	守山中学校	H15	80	感動とふれあいの中で確かな学力と豊かな心を育み、未来を切り拓く人材の育成を目指す。「進取、協和、知性」を目標とする。
25 京都府	洛北高等学校附属中学校	H16	80	基本コンセプトを「SCIENCE(科学)」と設定し、自然科学の基本的な素養を身に付けることを重視し、次代を担う人材を育成する。
26 京都府	園部高等学校附属中学校	H18	40	基本コンセプトを「大志・知・創造」と設定し、日本の伝統・文化を基盤とした教養と、自分の考えで判断する力を身に付けることを重視し、次代を担う人材を育成する。
27 京都市	西京高校附属中学校	H16	120	進取・敢為・独創の校是のもと、6年教育課程を導入し科学・英語の力・幅広い視野の育成に重点を置く。
28 大阪市	咲くやこの花中学校	H20	80	ものづくり、スポーツ、言語、芸術など、早くから興味・関心の現れやすい分野の才能を伸ばす。
29 兵庫県	兵庫県立大学附属中学校	H19	40	科学技術における学術研究の後継者や国際感覚豊かな創造性あふれる人材の育成
30 和歌山県	古佐田丘中学校	H18	80	文系、理系のいずれの進学希望にも対応できるバランスのとれた学習内容の展開
31 和歌山県	向陽中学校	H16	80	環境科学に関して系統性を持った教育課程を編成
32 和歌山県	田辺中学校	H18	80	理科、数学を中心として基礎から専門まで充実した学習の展開
33 和歌山県	桐蔭中学校	H19	80	社会の変化に主体的に対応し、新しい時代を切り拓くことができる総合的な人間力を育成する。
34 和歌山県	日高高等学校附属中学校	H20	80	6年間の一貫教育活動を通して課題を総合的・科学的に解決できる「総合的な人間力」を身につけた、社会に貢献できるリーダーとしての人材をめざす。
35 岡山県	岡山操山中学校	H14	120	系統的進路指導による自己の生き方の探求と自己選択能力の育成、主体的な選択学習による生徒の個性と才能を伸長
36 岡山県	倉敷天城中学校	H19	120	理数教育と語学教育の重視による、科学的思考力や国際的な感覚の育成
37 岡山市	岡山後楽園中学校	H11	80	選択教科の充実、シフト制の導入(土曜日)
38 広島県	広島中学校	H16	160	グローバル化時代に活躍できる人材の育成のため、中高6年間で計画的・継続的に「ことばの教育」を推進
39 福山市	福山中学校	H16	120	中学校における教科「理数探究」及び中・高等学校における教科「コミュニケーション」等による6年間の計画的・継続的な指導を実施
40 広島市	安佐北中学校	H15	80	少人数学級編制・授業により学力の向上を図る。
41 山口県	高森みどり中学校	H15	40	多様な交流による、生徒一人ひとりの夢を実現する学校づくり
42 徳島県	城内内中学校	H16	120	高い志を持って社会の平和と発展に貢献できる人材の育成
43 徳島県	川島中学校	H18	80	高き理想に生き未来を創造する人間の育成
44 香川県	高松北中学校	H13	120	英語・数学に重点を置いた教育課程の編成
45 香川県	高瀬のみが丘中学校	H14	-	土曜日や長期休業中の学習支援や、中高生が一緒に活動するフューチャー制度などを実施
46 高知県	安芸中学校	H14	80	県東部地域の拠点校として、進路指導に重点を置く他、読書活動やボランティア活動が活発である。
47 高知県	高知南中学校	H14	120	国際理解教育の重点を置き、SELHiの指定を受けている。高大連携事業等も積極的にやっている。
48 高知県	中村中学校	H14	80	県西部地域の拠点校として、進路指導に重点を置くほか、国際交流やボランティア制などに取り組んでいる。
49 福岡県	育徳館中学校	H16	120	心を耕し、知を伸ばし、体を育み、新しい時代のリーダーを育成する。
50 福岡県	門司学園中学校	H16	120	豊かな心を持ち、新しい時代を切り拓くたっくましい日本人の育成を目指す。
51 佐賀県	致遠館中学校	H15	160	体験学習・探求学習・情報教育を重視した6年間のリアル・スタディの開設等
52 佐賀県	唐津東中学校	H18	120	中高6年間を通して対話能力を育成する学校設定教科「コミュニケーション」の開設
53 佐賀県	香楠中学校	H19	120	学校独自の教科「サイエンス」「コミュニケーション」を柱とした科学的・論理的思考力とコミュニケーション能力の育成
54 佐賀県	武雄青陵中学校	H19	160	総合的な学習の時間「探究」による知的探究心・主体的な進路選択能力の育成
55 長崎県	長崎東中学校	H16	120	異文化理解、国際理解教育の推進
56 長崎県	佐世保北中学校	H16	120	コミュニケーション能力の育成
57 大分県	大分豊府中学校	H19	120	質の高い効率的な学習で学力の向上を図る、中高合同による学校行事で人間力を高める、文武両道を推進し部活動で個性を伸ばす。
58 宮崎県	宮崎西高等学校附属中学校	H19	80	知・徳・体の調和のとれた社会に貢献できる能力や資質を持った人材の育成
59 鹿児島市	鹿児島玉籠中学校	H18	120	豊かな人間性、真の学力、国際性の育成をめざし、高い志を実現できる、鹿児島らしい特色ある教育を実施
60 沖縄県	与勝緑が丘中学校	H19	80	基礎基本の充実を図る教育、自己表現やコミュニケーション能力を育てる教育

	(卒業生が出ている学校)	(最高学年は高校3年生)	(最高学年は中学2年生)
学校名	浜松西高等学校中等部・浜松西高等学校(静岡県)	洛北高等学校附属中学校・高等学校(京都府)	千葉中学校・高等学校(千葉県)
基本的枠組	(1)開校年度 平成14年4月 (2)設置場所 既設の高等学校に新設の県立中学校を併設 (3)設置形態 併設型中高一貫教育校 (4)学校規模 中学校 各学年4学級(160人) 男女比なし 高等学校 各学年5学級(200人) (5)課程・学科 全日制課程普通科(高校) (6)授業時間・学期 中学校、高校とも50分 6時間授業 2学期制 平成20年4月現在	(1)開校年度 平成16年4月 (2)設置場所 既設の高等学校に新設の府立中学校を併設 (3)設置形態 併設型中高一貫教育校 (4)学校規模 中学校 各学年2学級(80人) 男女比なし 高等学校 各学年7学級(280人) (5)課程・学科 全日制課程普通科(高校) (6)授業時間・学期 中学校、高校とも50分 7時間授業 2学期制 平成20年4月現在	(1)開校年度 平成20年4月 (2)設置場所 既設の高等学校に新設の県立中学校を併設 (3)設置形態 併設型中高一貫教育校 (4)学校規模 中学校 各学年2学級(80人) 男女各40名 高等学校 各学年8学級(320人) (5)課程・学科 全日制課程普通科(高校) (6)授業時間・学期 中学校、高校とも50分 6時間授業(火、水は7時間) 3学期制 平成20年4月現在
教育理念	高い知性、豊かな人間性、社会貢献への高い志とたくましい力を持ち、国際社会においてリーダーとして輝く人材の育成	未来を切り拓く強い意志、高い知性、豊かな感性を持つ人間の育成	千葉から日本でそして世界で活躍する心豊かな次代のリーダーの育成 ・互いに高め合う、系統化され一貫教育で豊かな人間性を培う ・伝統・実績・真の学びで揺るぎない学力を育む
育てたい生徒像	知的好奇心・探求心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等の確かな学力を備えた生徒 自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲を持つ生徒 様々な分野において、国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を備えた生徒	世界に羽ばたく大きな志を持った生徒 知的バランスのとれた生徒 心豊かで、礼節をわきまえた生徒	知的興味を高め、絶えず学び続ける自主性を持ち、揺るぎない学力を身につけることで、幅広く深い教養を持った生徒 多くの人びととふれ合い、協同して互いに高め合いながら、他人のいたみが分かる、うるおいに満ちた人間性を備えた生徒 わが国の伝統や文化を深く理解し、実社会に共感する力や、社会貢献の志を持って、自分を確立する基礎を見に付けた生徒
特色ある取組	中学では国社英は深める学習、数理は積極的に教育課程の特例を活かした授業を展開 数学と理科は他の中学に比べ、それぞれ50時間程度多く学習 高校からの入学生は1学級40人を募集 高校からの入学生には、進度に追いつくための特別指導を実施 単独クラス編成(高校2年次より中等部から入学した生徒と混合) 月曜日に7時間目を設置し、数学・化学の補充 高2、3では文系・理系で高度な発展授業を行なうクラスを設ける 中高一貫導入に伴い高校では理数科を廃止	基本コンセプトを「SCIENCE(科学)」と設定し、自然科学の基本的な教養を身に付けることを重視。 ・仮説・実験・検証など体験的な学習を通して課題解決に当たった科学的手法を身につける ・大学・企業・研究所などと連携して、専門家による指導を受けたり、直接最先端技術を学ぶ 6年間を基礎期・充実期・発展期と3つの段階に分け、計画的、系統的、合理的な教育を展開 高校の内容の先行授業...豊富な授業時間を計画的に活用し、中3では高校の学習内容も履修 SSHの一貫としての授業...SSH指定の一貫として、中学の授業でも研究・実践への取組	全教科をバランスよく学ぶ 受験勉強に特化せず「厚重的な教養主義」を重視。文系でも全員が数 履修スバイラル学習 必要に応じて高校や大学の内容にも触れ、発展的に深い理解へ到達するように学ぶ 協同的な学び グループ活動を積極的に取り入れ、その中で知識の活用を図りつつ、お互いの思考力・表現力を高める *原則的に、高校から中学への指導内容の移行は行わない。(発展学習的には取り上げることはある)
中学からの内部進学生と高校からの入学生	高1は別クラス 高2以降は進路希望と成績でクラス分け	別クラス	同じクラスにする予定
適性検査方針	・適性検査 ・適性検査 ・作文 ・面接	・作文・製作 ・面接	ア：文章や資料等の内容を読み取り、自分の考えをまとめ、表現する力をみる イ：課題を理解し、解決に向けて筋道を立てて考え、表現する力をみる ウ：身の回りにある事から課題を発見し、学んだことを活用し、解決する力をみる ・適性検査1-1、1-2 ・適性検査2-1、2-2 ・面接